

平成26年4月

名瀬港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、名瀬港－10m岸壁への7万GT級大型客船2船型の入出港及び係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

入出港の安全性については、アプローチ操船、回頭操船、着離岸操船の各操船局面について、ファストタイム操船シミュレーションを行うとともに簡易景観型ビジュアル操船シミュレーション実験の併用により、船体に作用する風圧力等の外力影響を調査検討した。

また、岸壁の防舷材を調査し、吸収可能エネルギーを推定して7万GT級大型客船の許容接岸速度等を検討し、安全な入出港・着離岸が可能な外力条件等について提案した。係留中の安全性については、OCIMFの計算手法を用いて安全に係留可能な条件を検討するとともに、望ましい係留方法を提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 大型客船入港計画の概要
- (3) 航行環境
- (4) 入出港操船の検討
- (5) 係留の検討
- (6) 航行安全対策の検討